

全国小・中学校新聞コンクール 大沢小と豊間根小 上位入選の喜びに沸く

毎日新聞社などが主催する第58回全国小・中学校・PTA新聞コンクールの入賞校が発表され、小学校・学校新聞の部で大沢小学校の「海よ光れ」が全国2位となる文部科学大臣賞を受賞しました。3年連続となる上位入賞に、前児童会長の福士幸太君（6年・現山田中1年）は「学校を良くしようという思いを込めて作りました。今までで最高の賞をとれてうれしい」と話していました。

また、同学級新聞中学年の部では豊間根小学校3学年が制作した「挑戦」が佳作に入選。初めての全国コンクールでの入賞に、リーダーの木村優花さんは「みんなで協力して作った新聞が入選してうれしい」と話していました。



初の全国入賞を喜ぶ豊間根小学校3学年の皆さん



学校新聞「海よ光れ」を制作した大沢小学校の前児童会執行部



報告会の様子（上写真）／マップの完成を報告するため、沼崎喜一町長を表敬訪問した北浜地区自治会役員の皆さん

北浜地区 地域支え合いマップが完成 災害時の支援体制を整える

このほど北浜地区の「地域支え合いマップ」が完成し、事業完了報告会が開かれました。これは、災害発生時における地域住民の避難体制づくりを目的に、北浜地区自治会（武藤清古会長・270世帯）が県から委託を受けて昨年10月から取り組んでいたもので、会場となった北浜防災センターには地区住民ら35人が出席。会では事業の経過報告に続き、完成した同マップが披露されました。

同マップには避難所や安全に避難できる道路、ブロック塀などがあり危険な場所などを表示。裏面には自力で避難するのが困難な要援護者宅を、ご本人の承諾を得て掲載しています。また、各地域を抜粋した小型版も製作され、地域内の各世帯に配布されました。

3月1日には同事業の一環で、夜間の避難訓練を独自に開催した北浜地区自治会。今後は地域からアンケートなどで意見を取り入れながら、支援体制のさらなる充実と防災意識の高揚を図りたいとしています。